

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域包括支援センター
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	839-2811
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	認知症ケア推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 32年度

【事業全体概要】

事業の概要	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現を目指し、認知症の人や家族を支援する「認知症地域支援推進員」の配置、状態に応じた適切なサービス維持のための「認知症ケアパス」の普及や、認知症の初期から複数の専門職が訪問支援等を行う「認知症初期集中支援チーム」の設置・運営を行う。				
29年度概要	認知症初期集中支援チーム設置・運営 認知症初期集中支援チーム検討委員会開催 認知症地域支援推進員配置 認知症普及啓発 認知症カフェ設置（モデル）				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	認知症やその疑いのある人が、状態に応じて必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう、医療・介護等の関係機関へつなぐことで、住み慣れた地域で生活を継続することができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
認知症地域支援推進員が受けた認知症に関する相談実件数	件			236	240	240
認知症初期集中チームによる訪問実件数	件			6	90	90

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
相談件数のうち、医療等のサービス支援につながった数	件	目標値			120	120	120
		実績値			101		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 相談件数の内、約4割が医療等のサービスに繋げることができた。 （目標達成度）						（達成度） 84.2% 29点	
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 10月からの新規事業のため、活動指標をモデル事業を参考に想定したが現状と乖離した。開始後の相談件数が伸びず、訪問件数も少なくなった。 （目標達成度）						（達成度） 11.1% 3点	
成果指標名（どのような成果が得られたか） 訪問件数のうち、医療や介護サービス等につながった実人数	人	目標値			45	90	90
		実績値			5		

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	4,176	8,203	15,815	20,887
（事業費）	[円]	1,224	2,829	4,038	9,110
（職員人件費）	[円]	2,952	5,374	11,777	11,777

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
認知症地域支援推進員は3人の増で7人となった。認知症の相談だけでなく、認知症初期集中支援チームと共に活動し、チーム員会議にも参加している。常に推進員数を安定して確保し、相談体制を整えることが課題である。 認知症初期集中支援チームは、対応件数は少なかったが、医療等サービスに短期間で全件数つなぐことができた。活動の効果を出すには、市民や関係機関への事業の周知啓発が必要である。また、今後、高齢化に伴い、相談数が増加すると予想されることから、チーム数を拡大する必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
認知症地域支援推進員数を常に安定して確保し、認知症の相談に対応し、認知症初期集中支援チームとの連携を密に図っていく。認知症初期集中支援チーム数を拡大するとともに、チーム員活動の質の向上を目指し、チーム員活動の研修を実施する。関係機関等への事業の周知を積極的に行う。			